

会 議 録		
会議名	第 2 2 回日野市地域公共交通会議	
日時	平成 2 7 年 1 0 月 5 日 (月) 1 3 : 3 0 から 1 4 : 3 0 まで	
会場	日野市役所本庁舎 5 0 7 会議室	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 岡田課長、浅川課長補佐、 壁巢課長補佐、高橋主事
議題	議事 (1) 平成 2 6 年度予算・決算について (協議事項) 1) 平成 2 6 年度補正予算 (第二回) (案) 2) 平成 2 6 年度決算 (案) (2) 平成 2 6 年度利用状況について (報告事項) (3) 平成 2 7 年度事業について (報告事項) (4) その他 (報告事項)	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	0 名	
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ (会長)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 平成 2 6 年度予算・決算について (協議事項)</p> <p> 1) 平成 2 6 年度補正予算 (第二回) (案)</p> <p> 事務局から説明 (資料 1)</p> <p> 2) 平成 2 6 年度決算 (案)</p> <p> 事務局から説明 (資料 2)</p> <p> < 意見、質問等 ></p> <p> 特になし</p> <p>(2) 平成 2 6 年度利用状況について (報告事項)</p> <p> 事務局から説明 (資料 3)</p> <p> < 意見、質問等 ></p> <p> 特になし</p>		

(3) 平成27年度事業について（報告事項）

事務局から説明（資料4）

<意見、質問等>

委員

ミニバスの更なる充実についてとありますが、14便増発という事で始終発の時刻を延長するということになりますが、乗務員の確保が難しいといわれている現状において、乗務員確保の見通しは立っているのでしょうか？

⇒日野市ミニバスは京王電鉄バスが運行しております。

京王電鉄バスから、現在は京王電鉄バスだけでなく日本全国でバスの運転手が不足していると聞いております。しかし更なる住民サービスのために、なんとか京王電鉄バスに人員確保をお願いしているところです。

本来でしたらもっと早めにやりたいところですが、開始の時期が約1年後になる予定で、この一年間で人員を確保し実施できる体制を整えるのご回答をいただきましたので、このように進めさせていただければと思っております。

（事務局回答）

委員

同じくミニバスの更なる充実についてですがピッチとはワンストロークでよろしいですか？

⇒はい。

（事務局回答）

(4) その他（報告事項）

事務局より説明（資料5）

<意見、質問等>

委員

資料5の3）筆談のできる環境づくりについて運行事業者に働きかけているとありますが、今現在どれくらい実施がなされているのか？

⇒まず、筆談のできる環境づくりという事で、筆談ができるかどうかという掲示そのものはあったり無かったりです。京王電鉄バスに確認したところ、もともと京王電鉄バスで使われていたシールを改めて全部のバスに掲示していただくよう依頼しました。

また、筆談器というよりはメモ書きですが、これについては乗務員がいつも備えているということで確認をしております。

この件について、バスの方はそれほど心配していないのですが、一般のタクシーの方が主になります。

聴覚障害者協会の会長の方から色々お話をいただいて、今年、群馬で全国ろうあ者大会が開催され、群馬の全てのタクシーは助手席の背もたれの後ろに、メモと短い鉛筆が置かれていたそうです。それを使って聴覚障害の方がどこに行きたいとかのやり取りができる環境づくりを全てのタクシーで行っていたとのことです。

それを日野市内だけでなく全国的にそういう環境があると良いと伺ったものですから、今後タクシー事業者に対し、そのような啓発を行っていきたいと考えております。

ただひとつ懸念しているのは、助手席の背もたれにペンをさしておくとかタクシー強盗の恐れがあるということです。

ただ、ペンそのものは短い鉛筆を備えておくとのことなのでなかなかタクシー強盗には至らないだろうと考えているところです。

このようにバス、タクシー事業者に啓発していきたいと考えております。

(事務局回答)

委員

タクシーをお呼びする段階でのFAXは今でも多少あるのですが、ただ車内でメモのやり取りというのはなかなか無かったので、よろしいんじゃないかと思えます。

⇒

特に助手席のところにペンと紙を備え付けるというよりも、運転手がペンと紙を備えていれば筆談できると思うので、そこまでやる必要があるのかどうかは検討が必要です。まず「運転手がペンと紙を持っていてください。できれば助手席の背もたれに備えてあるとより良い。」というお話だったので、いずれにしても「運転手は紙とペンを持つこと。また、筆談可能なことを車内掲示すること。」について、タクシー事業者に啓発していく必要があると考えております。

(事務局回答)

委員

タクシーの乗務員手帳には法令が書いてあったり、違反の点数などが書いてあるが、最後にメモがある。

そのメモのところにそういった障害を持った利用者に対する対応を加えていけば良いのでは。

委員

筆談具のお話があったのですが、昨年たまたま障害者団体と私どもの協会で話し合いを行いました。その中でバスの車内に筆談具を必ず備えて欲しいという要望を受けました。私どもの協会と交通局と大手を含めたバス会社13社で調査いたしましたが、路線バスについては全て筆談器を備えており、そういった表示もわかりやすいように車内に掲示しておりますので、聴覚障害者に対してはコミュニティバスも含めて整備を進めていることをご報告させていただきます。

委員より補足説明（アメリカのバス事情について）

車いすスペースが2か所しかないため1度に乗れる車いすユーザーは2人までです。乗れない時は、ドライバーが次のバスに乗れるよう連絡を取ってくれています。スロープは運転席のボタンで5秒もかからずに開閉します。車いすスペースは対面のベンチシートになっていて車いすユーザーが来ると座っている乗客がベンチシートを跳ね上げ準備をしてくれます。最後に前後それぞれ2本のベルトを車いすにひっかけて終わりです。

ニューヨークのメトロバスのメリットですが、全てのバスにスロープが付いているためどのバスにも乗車できます。また、運転手・乗客など、誰一人嫌な顔をする人がいませんでした。

ニューヨーク市内を走るバスは、東西方向・南北方向を結び、基本的にほぼ曲がりません。

一方ニューヨークの地下鉄は古くからあるためエレベーター設置駅が非常に少ないのが現状です。当然のことながら車いすユーザーはエレベーターのある駅しか使えません。目的地近くまで行くためにはバスの方が使い勝手が良いです。バス停の数が多く、間隔も短く1区間を歩いても5分前後。1つのバス停には行き先の違うバスが複数停まるため表示されている行き先を確認して乗ります。

料金は前払い制の一律\$2.50（小銭しか使えません）で、メトロカードを使う場合2時間以内であれば地下鉄からバスへ乗り継ぎが1回無料。バスから違うバス路線への乗り継ぎも2時間以内であれば無料です。

デメリットとしては、渋滞などの場合もありますが基本的にダイヤ通りには来ないのが当たり前です。

また、運転が荒く急発進、急ブレーキが当たり前。日本人の運転技術の高さを実感しました。車いすはしっかりとベルト固定をすることをお勧めします。

委員（質問）

デメリットで、時間通りバスが来ないとありますが、本数は多いのでしょうか。

委員（回答）

本数は多いです。

委員（質問）

ではダイヤ通りに来なくても、少し待てば頻繁に来るから困らないということでしょうか？

委員（回答）

そのとおりです。アメリカの方たちは時間をあまり気にされていないのか、困るということは無いようです。

地下鉄も日本でいう時刻表が駅にあるわけではなくて、電光掲示板に次の電車が何時来ます位の表示しかされず、みなさんそれを見て乗っているというだけで、いないことはないがあまり時間で動いてないといった感じです。

委員（質問）

バスでは次は何時ごろ又は何分後にバスが来るといった情報は分かるのでしょうか？

委員（回答）

スマートフォンのメトロバスのページを見ると、そのバス停にバスがあと何分位で着きますといったことが分かるようです。

そういった情報発信はしているみたいです。

<事務局より事務連絡>

次回会議は、来年2月から3月にかけて第23回の会議を予定しています。